

学校関係者評価委員会の意見

平成31年3月4日(月)に実施した焼津豊田幼稚園 学校関係者評価委員会において協議した事項をもとに、委員会の意見について、以下のように報告します。

☆評価の状況

評価項目	評点	評価委員会としての意見
教育活動や行事を実施にあたり、幼児の発達に即した内容や取り組み及び環境となっているか。	A	<p>教育活動や行事を実施するにあたり、前年度反省をもとに教職員間の話し合いを進めていっていること、子どもの様子を踏まえ内容を精査していること、そこに至るまでの経過などを保護者に伝えていこうとする配慮等評価できます。</p> <p>引き続き、子どもの発達の捉えの共通理解や再確認をしながら取り組んでほしいと思います。</p>
幼児一人一人の内面を育むよう個に応じた指導、援助が考えられているか。	B	<p>教職員間の話し合いの中で目指す方向を明確にし共通理解しながら、幼児一人一人の個別支援にも力を注いでいる様子が伝わってきます。常日頃より、子ども一人一人の成長の詳細を追う努力は大切なことです。さらに一歩進んで、その子の思いや保護者の思いをくみ取って育てていく努力を今後も地道に続けていってほしいと思います。</p> <p>次年度もベテランと若手とが切磋琢磨しながら向上していってくれることを期待します。</p>
幼児が安心して生活できる施設設備環境の構築に配慮しているか。	A	<p>園内においてはセキュリティの面をはじめ遊具点検など、安心・安全の環境に配慮がなされています。日々の生活の中で常に教職員が遊具チェックを心掛けていることが評価できます。</p> <p>子どもに怪我はつきものといわれますが、“自分の身は自分で守る”という子ども達の安全指導等にも力を入れ自己防衛力等がつくような遊びの工夫もこれからは必要となってくるのではないかと考えます。</p>

		<p>また、事故防止のための保護者への啓蒙活動、登降園時送迎の安全指導対策などにも留意していくことで地域の方々の園への理解、協力にもつながっていくようになってほしいと思います。</p>
<p>地域子育て支援の拠点としての機能が発揮されているか</p>	A	<p>個人面談や希望面談、カウンセラーの派遣相談事業は継続して積極的に実施されていますので、引き続いての取り組みを期待します。ホームページによる情報公開・園庭開放事業や未就園児への親子教室（つくしんぼクラブ）などを通し、相談事業の充実を図ることは大切なことです。地元根付いた焼津豊田幼稚園のPR活動の一環として何か取り組むことも良いかもしれません。入園するしないに関わらず、園により多く足を運んでいただくことで、子育て支援の拠点となっていくと思います。気軽に利用できるための雰囲気、環境作りに、より一層の配慮を望みます。</p>

以上を評価報告書として提出いたします。

平成31年 3月 25日

平成30年度 焼津豊田幼稚園 学校関係者評価委員会

委員長

杉本清美 